

優秀演題発表：第 31 回日本消化器癌発生学会総会の優秀演題 16 題が決定しました。

優秀演題

主題 8 名

シンポジウム 1 (癌細胞社会の特性と制圧)

- **S1-5: 安川 佳美 先生** (国立がん研究センター研究所 エピゲノム解析分野)
「スキルス胃癌における線維芽細胞はがん浸潤の強い亢進作用を伴った特徴的な形質を示す」
- **S1-8: 岡部 篤史 先生** (千葉大学大学院医学研究院 分子腫瘍学)
「胃癌において癌ウイルス感染が誘導するヘテロクロマチンリプログラミングとクロマチン構造異常」

シンポジウム 2 (消化器癌 Precision Medicine)

- **S2-4: 辻尾 元 先生** (大阪市立大学大学院 消化器外科学)
「クラスター分析を用いた胃癌腫瘍内発現蛋白および遺伝子の不均一性の検討」
- **S2-9: 志智 俊介 先生** (北海道大学 医学部 医学研究院 消化器外科学教室 I)
「肝がんにおける Diacylglycerol Kinase α を介した抗腫瘍免疫の制御」

ワークショップ 1 (消化器癌治療の最前線)

- **W1-4: 龍崎 貴寛 先生** (千葉大学大学院 医学研究院 先端応用外科学)
「胃癌患者由来癌関連線維芽細胞は癌-間質相互作用を介して胃癌細胞株の浸潤能を高める」
- **W1-6: 臼井 源紀 先生** (東京大学大学院 医学系研究科 病因病理学専攻 人体病理学・病理診断学)
「4,260 名の無症候検診コホートの解析による胃発癌リスク因子の探索と胃粘膜に蓄積した DNA メチル化の解析」

ワークショップ 2 (癌の進展と病態解析)

- **W2-3: 大見 関 先生** (名古屋市立大学 消化器外科学)
「膵癌における血管新生抑制を介したエスシンの抗腫瘍効果の検討」
- **W2-10: 杉本 敦史 先生** (大阪市立大学大学院 消化器外科学)
「腹膜中皮細胞の Tks5 発現と胃癌予後との関連性の検討」

一般演題 8 名

① 治療標的

- P1-3: 坂本 直也 先生** (国立がんセンター 先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野)
「5-FU 耐性胃癌オルガノイドを用いたメタボローム解析」

② 癌間質細胞

- P2-5: 秋山 貴彦 先生** (熊本大学大学院 消化器外科学)
「癌微小環境における胃癌浸潤に関わる分子メカニズムの解明」

③ 腫瘍免疫

- P3-3: 宮下 優 先生** (九州大学大学院 消化器・総合外科)
「胃癌 HER2 増幅症例における腫瘍局所免疫環境の検討」

④ 遺伝子異常

- P4-7: 瀬良 知央 先生** (大阪市立大学大学院 医学研究科 消化器外科)
「次世代シーケンサーを用いた RNA-seq によるスキルス胃癌ドライバー遺伝子の探索」

⑤ マーカー

- P5-6: 倉島 研人 先生** (京都府立医科大学 消化器外科)
「胃癌における Leucine-Rich Repeat-Containing protein 8A (LRRC8A) の役割と予後に与える影響について」

⑥ 浸潤・転移

- P6-2: 伊勢田 憲史 先生** (九州大学大学院 消化器・総合外科)
「ARID1A 発現と肝細胞癌予後に関する検討」

⑦ 分子病理

- P7-2: 松井 信平 先生** (慶應義塾大学 医学部 外科学教室)
「肥満関連大腸癌発癌についての研究」

⑧ 消化器癌症例

- P8-4: 上原 英雄 先生** (国立病院機構 九州がんセンター 消化管外科)
「術前診断に苦慮した大網 GIST の 1 例」

以上です。

選考委員となっていただきました座長および代議員の先生方に御礼申し上げます。
受賞者には後日表彰状と副賞をお送りいたします。